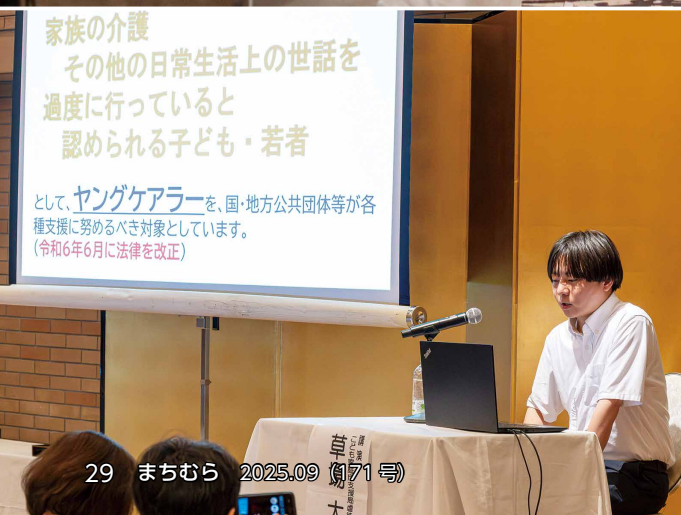


令和7年度 生活学校・ 生活会議運動 全国大会

令和7年度
生活学校・生活会議運動全国大会



写真右から 吉田理子・内閣府大臣官房総務課制度室長、花木啓祐・（公財）あしたの日本を創る協会会長、
榊誠・（公財）あしたの日本を創る協会の理事長、祝前清美・全国生活学校連絡協議会会長
写真左下 草場大樹・こども家庭庁支援局虐待防止対策課（役職は開催日時点）



内閣官房長官表彰



愛知県 山崎 寿子
愛知県生活学校
運動推進協議会前副会長



山梨県 齋藤 徳子
山梨県生活学校
連絡会副会長



神奈川県 吉田 トシ子
かながわのあすを築く
生活運動協議会会長



茨城県 中村 久子
茨城県生活学校
連絡会副会長

あしたの日本を創る運動 推進功労表彰

特別功労表彰



東京都 田村 昌子
初台生活学校



東京都 島崎 民子
初台生活学校



東京都 原田 照美
あおば生活学校



東京都 鳴嶋 享子
あおば生活学校



栃木県 磯 恵美
那須塩原市生活学校
(代理)



宮城県 祝前 清美
仙台市
泉ひまわり生活学校

会長表彰(個人)



鹿児島県 松下 尚明
鹿児島県生活会議等
ネットワーク前会長



岐阜県 河野 美佐子
岐阜県生活学校
連絡協議会副会長



福岡県 斉藤 博子
福岡県生活学校
連絡協議会理事

会長表彰(団体)



石川県 窪高見台
こども・おとな食堂

特別功労表彰



山梨県 松川 豊子
山梨市生活学校
(代理)



山梨県 奥山 和子
塩山生活学校
(代理)

写真は表彰式に出席された方(役職は4月1日時点)

令和7年6月30日、東京都新宿区のホテルグランドヒル市ヶ谷において、「令和7年度生活学校・生活会議運動全国大会」が開催された。全国各地の生活学校・生活会議などの地域活動に取り組む団体の方や行政関係者など約100名が参加した。

開会行事では、主催者として公益財団法人あしたの日本を創る協会の花木啓祐会長から挨拶。来賓としてご臨席の吉田理子内閣府大臣官房総務課制度室長よりご挨拶をいただいた。また、(公財)あしたの日本を創る協会の神誠理事長、全国生活学校連絡協議会の祝前清美会長が登壇した。

続いてあしたの日本を創る運動推進功労者の表彰が行われた。今年表彰を受けた、内閣官房長官表彰5名、特別功労表彰13名、会長表彰個人の部6名、会長表彰団体の部1団体のうち、表彰式には計15名および1団体の方が出席された。

続いて基調講演では、こども家庭庁支援局虐待防止対策課の草場大樹氏から「ヤングケアラー」について講演があった。ヤングケアラーの問題点として「こどもや若者がケアを担うことでやりたいことができないなど、こども自身の権利が守られていないこと」が挙げられた。こうしたヤングケアラーへの支援の流れとして、支援を必要とするヤングケアラーを把握する「気づく」、情報集約の窓口となる支援担当部署に支援が必要なヤングケアラーを共有する「情報集約」、こども家庭センターを中心に外部支援の導入度など調整する「支える」、身近な関係機関において見守りを継続し状況変化に対応する「見守る」ことが挙げられた。中でも、地域で留意することとして、ヤングケアラー本人と家族の想いを知る、寄り添う、見守るまなざしを向け、それぞれの想いを尊重した関わりが極めて重要なこと。また、「つなぎ先」となる各自治体



のヤングケアラー支援の担当部署の連絡先の確認が有効であることも挙げられた。また、各地の生活学校のヤングケアラー支援の活動とその役割にも触れられ、今後の取り組みへの期待も寄せられた。

続いて、全国運動「食を通じた子どもの居場所づくり」について、あしたの日本を創る協会の榊理事長、藤田事務局次長、および全国生活学校連絡協議会の祝前会長より説明があった。

その後、2つの分科会が開催され、第1分科会「全国運動の取り組み」では、はじめに当協会より児童虐待とヤングケアラーの問題についての説明が行われ、その後、山梨県忍野村・富士北麓生活学校の渡辺孝子さん、岡山県岡山市・東岡山生活学校の金羽木宏始さん、鹿児島県鹿屋市・生活学校「ここ」の桐原恭子さんから事例発表が行われ、子どもや保護者との関係性や居心地のよい居場所づくりの大切さなどが指摘されるなど、今後の活動について協議が行われた。

また、第2分科会「地域課題の解決に向けて」は、熊本県荒尾市・あらお凜の会の坂田尚子さん、大分県臼杵市・うすき生活学校Mundoの矢田しのぶさんから事例発表が行われ、行政との連携や、新しいメンバーの加入方法など、具体的な活動方法について会場から活発な質疑があった。

夕刻からの交流のつどいは約70名が参加。新規開設生活学校のメンバーによる自己紹介も行われるなど、全国各地からの参加者同士、出会いと交流の場となった。大会の最後には「がんばろう!」と参加者一同声を合わせ、仲間同士のつながりと全国運動の一層の取り組みを誓い合った。学びと交流で得たものが多い一日、新たな活動のきっかけになることが期待される。

